

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～ 令和7年 2月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23人	(回答者数) 20人
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～ 令和7年 2月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童達が来所することを楽しみにしてくれている。	・児童達自身でやりたい事や遊びを決めてもらい、その中で必要な支援を行っている。 ・季節に沿った(クリスマス会等)イベントを行っている。	・児童達や御家族も楽しめるような外出やイベント等の機会を増やしていく。
2	保護者支援及び関係機関との連携。	・保護者からの相談に応じ、問題解決や改善策に積極的に取り組んでいる。学校での友達関係や発作や身体的な問題等、子どもの困り事が軽減されるように努めている。また、必要に応じて学校と連携を図り対応できている。	・引き続き、保護者のニーズに応じていけるよう、関係機関との連携を緊密に図っていく。また、保護者の不安や悩みに迅速に対応し、安心していただけるよう努める。
3	手厚い支援体制	・利用児童に対し、十分な職員の人数を配置している。 ・勤続5年以上の職員が半分以上いるため、児童やそのご家族とも良好な関係が築けている。	・研修等に参加し、職員の質を向上させていくとともに、人員の更なる配置も検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない。	・肢体不自由の児童が大半であり、児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと遊ぶことが容易ではないと考えているため。 ・感染症にも気をつけていかなければいけない。	・来所された児童全員ではなく、少人数づつ交流をはかってみる。
2	子どもに対する家族の対応力向上のための「ペアレントトレーニング」等や家族が参加できる研修の場の提供及び情報提供ができていない。	・保護者からの個別相談に対するアドバイスや助言はできているが、多くの保護者を対象とした研修や情報提供の取り組みはできていない。	・御家族に向けた研修会等も出来るように検討していく。
3	活動スペースが狭くなってしまう時間帯がある。	・食事介助の際に車椅子や座位保持椅子を使用する児童が多い為、食事やおやつ後すぐは活動スペースが狭くなっている。 ・児童の体調次第で食事介助に時間がかかっている。	・物の配置や児童達の食事スペースを見直していく。 ・児童達の食事介助の順番や、時間等を改善していく。